

注3

大学番号：国039

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

福井大学 工学部 応用物理学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合戦略部門経営戦略課

職名・氏名 キカクカリチョウ 企画係長 ・ サカイ ヨシミ 坂井 佳美

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail sskikaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

工学部

<応用物理学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

(2) 大学名

福井大学

(3) 大学の位置

〒910-8507
福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 ※事前伺いにつき、記載致しません。

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 応用物理学科 学士 (工学)	4 年	50 人	年次 人	200 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 (-) [若干名]	- () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.06倍	
志願者数	199 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	121 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	64 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	53 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 53	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 53	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	53 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	53 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者数のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 応用物理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
科目区分	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1		
	基礎教育科目										
基礎教育科目	情報処理基礎	1前	2			1	8				兼1
	体育	1前	2								兼8
基礎教育科目	保健体育	1前	2								兼2
	英語Ⅰ	1前	1								兼18
基礎教育科目	英語Ⅱ	1前	1								兼18
	英語Ⅲ	1後	1								兼18
基礎教育科目	英語Ⅳ	1後	1								兼18
	英語Ⅴ	2前	1								兼18
基礎教育科目	英語Ⅵ	2前	1								兼18
	ドイツ語Ⅰ	2①			1						兼1
基礎教育科目	ドイツ語Ⅱ	2②			1						兼1
	ドイツ語Ⅲ	2③			1						兼1
基礎教育科目	ドイツ語Ⅳ	2④			1						兼1
	フランス語Ⅰ	2①			1						兼1
基礎教育科目	フランス語Ⅱ	2②			1						兼1
	フランス語Ⅲ	2③			1						兼1
基礎教育科目	フランス語Ⅳ	2④			1						兼1
	中国語Ⅰ	2①			1						兼1
基礎教育科目	中国語Ⅱ	2②			1						兼1
	中国語Ⅲ	2③			1						兼1
基礎教育科目	中国語Ⅳ	2④			1						兼1
	日本語A	1前	1								兼1
基礎教育科目	日本語B	1後	1								兼1
	日本語C	1前	1								兼1
基礎教育科目	日本語D	1後	1								兼1
	日本語E	1前	1								兼1
基礎教育科目	日本語F	1後	1								兼1
	日本語G	1前	1								兼1
基礎教育科目	日本語H	1後	1								兼1
	共通教育科目										
共通教育科目	<社会>										
	<地域と歴史>										
共通教育科目	日本史(近世社会の展開)	1前	2								兼1
	日本史(中世社会の転換)	1後	2								兼1
共通教育科目	地図に見る歴史と景観	1前	2								兼1
	発展途上国の人間地生態	1前	2								兼1
共通教育科目	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前	2								兼1
	東洋史B(近代日本とアジア認識)	1後	2								兼1
共通教育科目	<現代社会の見方>										
	憲法概論	1前	2								兼1
共通教育科目	経済学B(現代社会とワークライフ)	1前	2								兼1
	社会学B(変容する家族と社会)	1後	2								兼1
共通教育科目	政治学A(現代政治学入門)	1前	2								兼1
	政治学B(戦後日本の政治)	1後	2								兼1
共通教育科目	日本国憲法	1前	2								兼1
	社会学A(メディア社会の諸相)	1前	2								兼1
共通教育科目	ジェンダー論	1後	2								兼1
	社会学C(コミュニティと住民組織)	1前	2								兼1
共通教育科目	経済学A(金融って何だろう)	1後	2								兼1
	経済学C(経済学の基礎理論)	1前	2								兼1
共通教育科目	科学技術と社会	2前	2			1					
	<生活と生活空間の科学>										
共通教育科目	まちづくり論	1前	2			2	2				
	災害の科学	1後	2			2	2	2			
共通教育科目	衣生活の現状	1前	2								兼1
	災害ボランティア論	1後	2			1					
共通教育科目	こども環境学入門	1後	2								兼1
	都市と建築の環境	1後	2			2	1				
共通教育科目	現代社会と私たちの生活	1前	2								兼1
	現代社会とビジネス	1前	2								兼1
共通教育科目	東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2								兼5
	環境問題と社会	1前	2								兼1
共通教育科目	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後	2								兼1
	科学技術と倫理	1後	2			1					
共通教育科目	<人間>										
	<思想と人間>										
共通教育科目	哲学的人間学Ⅰ	1後	2								兼1
	哲学的人間学Ⅱ	1後	2								兼1
共通教育科目	ラテン語とキリスト教Ⅰ	1前	2								兼1
	日本思想	1前	2								兼1
共通教育科目	哲学とは何か	1後	2								兼1
	哲学入門	1前	2								兼1
共通教育科目	宗教と哲学	1前	2								兼1
	<人間の科学>										
共通教育科目	教えることと学ぶこと	1後	2								兼1
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後	2								兼1
共通教育科目	人間の科学特別演習B(心理学)	1後	2								兼3
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後	2								兼2
共通教育科目	批判的思考を伸ばすⅠ	1前	2								兼1
	「社会がわかる」とは?	1前	2								兼1
共通教育科目	健康科学・医科学概論Ⅰ	1後	2								兼15

	子どもと学校	1後									兼1
	心を探る(人間関係論)	1前									兼1
	こころの発達と健康	1前									兼1
	＜スポーツと健康の科学＞										兼1
	ニューススポーツと健康生活	1前									兼1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	1前									兼1
	生まれること、産むこと	1前									兼1
	健康メデイアセラシー	1後									兼1
	ネット型球技(バレーボール)	1後									兼1
	＜英語コミュニケーション＞										
	スピーキングI	1前									兼1
	リスニング	1前									兼1
	ライティングI	1前									兼1
	ライティングII	1後									兼1
	リーディング	1後									兼1
	＜文化＞										
	＜日・中言語文化＞										
	言語表現	1後									兼1
	中国の古典文学	1前									兼1
	中国のことば	1前									兼1
	多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)	1後									兼1
	多文化コミュニケーションB(日本語コミュニケーションB)	1前									兼1
	多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1前									兼1
	教養中国語1	1前									兼1
	教養中国語2	1後									兼1
	教養中国語3	1前									兼1
	教養中国語4	1後									兼1
	言語生活論	1前									兼1
	中国の文化	1後									兼1
	日本語の歴史	1後									兼1
	白川文字学	1後									兼1
	＜欧米の言語と文化＞										
	ヨーロッパの言語事構	1前									兼1
	フランスの文化A(文学と絵画)	1前									兼1
	フランスの文化B	1後									兼1
	教養ドイツ語1	1前									兼1
	教養ドイツ語2	1後									兼1
	教養ドイツ語3	1前									兼1
	教養ドイツ語4	1後									兼1
	教養フランス語1	1前									兼1
	教養フランス語2	1後									兼1
	教養フランス語3	1前									兼1
	教養フランス語4	1後									兼1
	アメリカの文化	1後									兼1
	フランス文学入門	1前									兼1
	ヨーロッパの映画	1後									兼1
	ドイツの文化	1前									兼1
	＜美術＞										
	造形美術の世界ー絵画	1前									兼1
	造形美術の世界ー表現世界の多様性	1前									兼1
	生活と美術ーみる、えがく、つくる	1前									兼1
	考古学入門	1後									兼1
	＜音楽＞										
	ポピュラー音楽の魅力をかぎぐる	1後									兼1
	近現代の音楽芸術	1前									兼1
	ピアノの魅力をかぎぐる	1後									兼1
	現代音楽入門	1後									兼1
	合唱の魅力を探る	1前									兼1
	＜日本語・日本文化(留学生対象)＞										
	日本の文化	1前									兼1
	日本事情A(日本語と文化)	1前									兼1
	日本事情B(社会と文化)	1後									兼1
	応用日本語I	1前									兼1
	応用日本語II	1後									兼1
	＜技術＞										
	＜システムと情報＞										
	数値計算の考え方	1前			1						
	計算機システムの基礎	1前			2					1	
	エネルギーと環境	1後			2					1	
	宮沢賢治と非線形科学	1後			2					1	
	マルチメディア情報通信	1後			2					1	
	ロボットの知能と学習	1前			2					1	
	生体情報工学	1前			2					1	
	＜生活と技術＞										
	熱と流れ	1後			2						
	音と振動	1前			2						
	金属のはなし	1後			2						
	進化する繊維の技術	1前			2						
	＜物質と技術＞										
	新素材の世界	1後			2						
	バイオの世界	1前			2						
	生体機能と化学物質	1後			2						
	電子の世界	1前			2						
	物性の科学	1後			2						
	半導体の科学	1後			2						兼1
	繊維の世界	1後			2						
	科学技術と環境	1前			2						
	化学と材料	1後			2						
	くらしから生命までの化学	1後			2						
	現場で役立つ機器分析	1前			2						
	＜自然＞										
	＜自然のことば＞										
	ランダム現象の記述	1後			2						兼1
	数学のことばで理解する物理学	1後			2						
	ゲームとパズルの数学	1後			2						兼1
	数学の歴史	1後			2						兼1

共通教育科目	共通教育科目	対称性と微分方程式	1前	2										
		簡単な実験で学ぶ生活の中の熱とエネルギー	1後	2					+					
		エネルギー科学	1後	2							+			
		ミクロの世界ー量子力学の萌芽ー	1後	2						+	+			
		電磁波と物質	1前	2										兼4
		物理と微積分	1前	2										兼1
		科学的な見方・考え方	1後	2										兼2
		地域科学コミュニケーション	1前	2										兼2
		地球の環境	1後	2										兼1
		ヒトの生物学	1後	2										兼1
		自然史と生物	1前	2										兼1
		日本海地域の自然と環境	1前	2										兼1
		地域の局地気象	1前	2										兼1
		火山のはなし	1後	2										兼1
植物の生活史と進化	1後	2										兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

※共通教育改革にともない、科目区分等の変更を含むカリキュラム改編の実施による(28)

共通教育科目	科目目	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1					
	基礎教育科目	情報処理基礎	1前	2			1	8							
		スポーツ健康科学 I	1前		2								兼7		
		スポーツ健康科学 II	1前		2								兼4		
		英語 I	1前	1									兼18		
		英語 II	1前	1									兼18		
		英語 III	1後	1									兼18		
		英語 IV	1後	1									兼18		
		英語 V	1前	1									兼18		
		英語 VI	1前	1									兼18		
		ドイツ語 I	1①			1								兼1	
		ドイツ語 II	1②			1								兼1	
		ドイツ語 III	1③			1								兼1	
		ドイツ語 IV	1④			1								兼1	
		フランス語 I	1①			1								兼1	
		フランス語 II	1②			1								兼1	
		フランス語 III	1③			1								兼1	
		フランス語 IV	1④			1								兼1	
		中国語 I	1①			1								兼1	
		中国語 II	1②			1								兼1	
		中国語 III	1③			1								兼1	
		中国語 IV	1④			1								兼1	
	日本語 A	1前		1									兼1		
	日本語 B	1後		1									兼1		
	日本語 C	1前		1									兼1		
	日本語 D	1後		1									兼1		
	日本語 E	1前		1									兼1		
	日本語 F	1後		1									兼1		
	日本語 G	1前		1									兼1		
日本語 H	1後		1									兼1			
共通教育科目	<地域コア科目群>														
	ものづくり・産業振興・技術経営分野														
		現代社会とビジネス	1前		2									兼1	
		現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2									兼1	
		科学技術と社会	1前		2		1								
		衣生活の現状	1前		2									兼1	
		ロボットの知能と学習	1前		2			1							
		進化する繊維の技術	1前		2		1	2							
		現場で役立つ機器分析	1前		2			1							
		半導体の科学	1後		2									兼1	
		繊維の世界	1後		2		2	1	1	1					
		新素材の世界	1後		2		1	2							
		地方創生福井モデルの事例研究ー鯖江学ー	1後		2									兼1	
		持続可能な社会・環境づくり分野													
	共通教育科目		こども環境学入門	1後		2									兼1
			環境問題と社会	1前		2									兼0
			まちづくり論	1前		2		2	2						退職により教員を見直し、後任補充予定(28)
			都市と建築の環境	1後		2		2							
			科学技術と環境	1前		2		1	2						
			科学技術と倫理	1後	2			1							
			地域の局地気象	1前		2									兼1
			自然史と生物	1前		2									兼1
		日本海地域の自然と環境	1前		2									兼1	
		地球の環境	1後		2									兼1	
		福井の経済と経営者	1前		2									兼1	
		コミュニティと住民組織	1前		2									兼1	
		地域科学コミュニケーション	1前		2									兼2	
		これからの地方創生と経営学	1前		2									兼1	
		ふくいを考える・見る・考える	1前		2									兼1	
		原子力・エネルギー分野													
	電磁波と物質	1前		2									兼4		
	エネルギー科学	1後		2				1							
	生活の中の熱とエネルギー	1後		2			1								
	熱と流れ	1後		2			2								

	エネルギーと環境	1後	2	1							
	災害の科学	1後	2	2	1	2					
	災害ボランティア論	1後	2	1							
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2								
	放射線利用－医学と産業－	1前	2	1						兼5	
	地域の防災・危機管理	1前	2							兼5	
	<教養教育科目群>									兼3	
	人間理解・言語コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	1前	2							兼1	
	「社会がわかる」とは？	1前	2							兼1	
	心を探る（人間関係論）	1前	2							兼1	
	こころの発達と健康	1前	2							兼1	
	人間の科学特別演習A（教育学）	1後	2							兼1	
	人間の科学特別演習B（心理学）	1後	2							兼3	
	人間の科学特別演習C（障害児）	1後	2							兼2	
	子どもと学校	1後	2							兼1	
	教えることと学ぶこと	1後	2							兼1	
	生まれること、産むこと	1前	2							兼1	
	健康科学・医科学概論	1後	2							兼15	
	ニューススポーツと健康生活	1前	2							兼1	
	アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2							兼1	
	健康メディアリテラシー	1後	2							兼1	
	ネット型球技（バレーボール）指導の理論と実際	1後	2							兼1	
	哲学的人間学Ⅰ	1後	2							兼1	
	哲学的人間学Ⅱ	1後	2							兼1	
	日本思想	1前	2							兼1	
	宗教と哲学	1前	2							兼1	
	哲学入門	1前	2							兼1	
	哲学とは何か	1後	2							兼1	
	スピーキングⅠ	1前	2							兼1	
	リスニングⅡ	1前	2							兼1	
	ライティングⅠ	1前	2							兼1	
	ライティングⅡ	1後	2							兼1	
	リーディング	1後	2							兼1	
	ヨーロッパの言語事情	1前	2							兼1	
	多文化コミュニケーションA（異文化コミュニケーションA）	1後	2							兼1	
	多文化コミュニケーションB（日本語コミュニケーションB）	1前	2							兼1	
	多文化コミュニケーションC（異文化コミュニケーションC）	1前	2							兼1	
	言語生活論	1前	2							兼1	
	言語表現	1後	2							兼1	
	応用日本語Ⅰ	1前	2							兼1	
	応用日本語Ⅱ	1後	2							兼1	
	中国語の世界1	1前	2							兼1	
	中国語の世界2	1後	2							兼1	
	中国語の世界3	1前	2							兼1	
	中国語の世界4	1後	2							兼1	
	ドイツ語の世界1	1前	2							兼1	
	ドイツ語の世界2	1後	2							兼1	
	ドイツ語の世界3	1前	2							兼1	
	ドイツ語の世界4	1後	2							兼1	
	フランス語の世界1	1前	2							兼1	
	フランス語の世界2	1後	2							兼1	
	フランス語の世界3	1前	2							兼1	
	フランス語の世界4	1後	2							兼1	
	歴史・文化理解分野										
	東洋史A（「東アジア世界」と日本）	1前	2							兼1	
	東洋史B（近代日本とアジア認識）	1後	2							兼1	
	日本史（中世社会の転換）	1後	2							兼1	
	日本史（近世社会の展開）	1前	2							兼1	
	発展途上国の人間地生態	1前	2							兼1	
	地図に見る歴史と景観	1前	2							兼1	
	ラテン語とキリスト教	1前	2							兼1	
	アメリカの文化	1後	2							兼1	
	フランス文学入門	1前	2							兼1	
	フランスの文化A（文学と絵画）	1前	2							兼1	
	フランスの文化B（ジャズとその時代）	1後	2							兼1	
	ヨーロッパの映画	1後	2							兼1	
	ドイツの文化	1前	2							兼1	
	中国の文化	1後	2							兼1	
	中国のことば	1前	2							兼1	
	中国の古典文学	1前	2							兼1	
	日本語の歴史	1後	2							兼1	
	白川文字学	1後	2							兼1	
	日本の文化	1前	2							兼1	
	日本事情A（日本語と文化）	1前	2							兼1	
	日本事情B（社会と文化）	1後	2							兼1	
	近現代の音楽芸術	1前	2							兼1	
	合唱の魅力を探る	1前	2							兼1	
	ポピュラー音楽の魅力を探る	1後	2							兼1	
	ピアノの魅力を探る	1後	2							兼1	
	現代音楽入門	1後	2							兼1	
	生活と美術－みる、えがく、つくる	1前	2							兼1	
	造形美術の世界－表現世界の多様性	1前	2							兼1	
	造形美術の世界－絵画	1前	2							兼1	
	考古学入門	1後	2							兼1	

共通教育科目	共通教養科目	社会経済・科学技術分野								
		経済学A（金融って何だろう）	1後	2					兼1	
		経済学B（現代社会とワークルール）	1前	2						兼1
		経済学C（経済学の基礎理論）	1前	2						兼1
		憲法概論	1前	2						兼1
		日本国憲法	1前	2						兼1
		社会学A（相互行為論入門）	1前	2						兼1
		社会学B（現代農村の社会学）	1後	2						兼1
		政治学A（現代政治学入門）	1前	2						兼1
		政治学B（戦後日本の政治）	1後	2						兼1
		ジェンダー論	1後	2						兼1
		音と振動	1前	2			1			
		バイオの世界	1前	2			2	2		
		電子の世界	1前	2			1			
		生体機能と化学物質	1後	2			1	3		
		数値計算の考え方	1前	2			1			
		計算機システムの基礎	1前	2					1	
		生体情報工学	1前	2					1	
		宮沢賢治と非線形科学	1後	2			1			
		ゲームとパズルの数学	1後	2						兼1
		数学の歴史	1後	2						兼1
		数学のことばで理解する物理学	1後	2			1			
		対称性と微分方程式	1前	2			1			
		ランダム現象の記述	1後	2						兼1
		物理と微積分	1前	2						兼1
		科学的な見方・考え方	1後	2						兼2
植物の生活史と進化	1後	2						兼1		
ヒトの生物学	1後	2						兼1		
火山のはなし	1後	2						兼1		
宇宙の成り立ち	1後	2					1			
専門教育科目	専門基礎科目	応用物理学概論	1前	2			1			
		線形代数Ⅰ	1前	2				1		
		微分積分Ⅰ	1前	2						兼1
		物理学A（力学）	1前	2				1		
		線形代数Ⅱ	1後	2				1		
		微分積分Ⅱ	1後	2						兼1
		応用数学C（ベクトル解析）	1後	2				1		
		基礎物理実験	1後	2				1	1	
		応用数学A（微分方程式）	2前	2						兼1
		応用数学B（フーリエ解析）	2前	2			1			
		応用数学E（確率・統計）	2前	2						兼1
		物理学B（電磁気学）	2前	2						兼1
		コンピュータ入門	2前	2				1		
		コンピュータ演習	2前	1						兼1
		応用数学D（複素関数論）	2後	2						兼1
		物理学C（波・光）	3前	2						兼1
		線形代数演習	1前	1				1		
		線形代数講究	1後	2						兼1
		微分積分演習	1前	1						兼1
		微分積分講究	1後	2						兼1
		応用数学講究	2後	2			1			
		力学演習	1前	1					1	
		電磁気学演習	2前	1						兼1
		化学基礎	2前	2					1	
		工業日本語Ⅰ	1前	2						兼1
		工業日本語Ⅱ	1後	2						兼1
		工業日本語Ⅲ	2前	2						兼1
		工業日本語Ⅳ	2後	2						兼1
		留学基礎英語	1～4前後	2						兼1
		学際実験・実習Ⅰ	2前 2後	1						兼3 教育内容充実のため (28)
		学際実験・実習Ⅱ	3前 3後	1						兼3 教育内容充実のため (28)
		放射線安全工学	3後 4前	2						兼1 教育内容充実のため (28)
		知的財産権の基礎知識	3後 4前	2						兼1 教育内容充実のため (28)
		ベンチャービジネス概論	4前 4後	2						兼1 教育内容充実のため (28)
フロントランナー	3後 4前	2						兼1 教育内容充実のため (28)		
ものづくり基礎工学	1後 2前	2						兼1 教育内容充実のため (28)		
インターンシップ	3前 3後	1						兼1 教育内容充実のため (28)		
海外短期インターンシップⅠ	1～4前後	1						兼1		
海外短期インターンシップⅡ	1～4前後	2 +						兼1 教育内容充実のため (28)		

専門教育科目	専門科目	応用力学	1後	2								兼1		
		応用力学講究	1後		2								兼1	
		解析力学	2前	2			1							
		量子力学Ⅰ	2後	2				1						
		量子力学Ⅱ	3前	2					1					
		量子力学演習	2後	1									兼1	
		量子力学講究	3前		2								兼1	
		熱力学	2後	2				1						
		統計力学	3前	2			1							
		統計力学講究	3前		2			1						
		応用電磁気学	2後	2			1							
		応用電磁気学講究	2後		2								兼1	
		電気電子回路	3前	2			1							
		物性物理学Ⅰ	3前	2			1							
		物性物理学Ⅱ	3後		2		1							
		物理化学Ⅰ	3前	2									兼1	
		物理化学Ⅱ	3後		2								兼1	
		流体力学	3後		2								兼1	
		原子力エネルギー・放射線工学	3後		2								兼2	
		科学技術英語	3後	2									兼1	
応用物理学実験Ⅰ	2後	2			1		1				兼3			
応用物理学実験Ⅱ	3前	2					2				兼3			
応用物理学実験Ⅲ	3後	2			2		3				兼2			
卒業研究	卒業研究	4通	8			4	6	1						
教職科目		幾何学概論	4前			2						兼1	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ (28)	
		職業指導	4前			2						兼1	学部共通科目ではなく、工業免許の教職課程を設置する学科の専門基礎科目としたため。(28)	
		工業概論	3前			2	2	1	1			兼6	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目を追加 (28)	
		教職の意義Ⅰ (公教育と教職の意義)	1後			2						兼2	副題の追記 (28)	
		教職の意義Ⅱ (学びの専門職としての教師)	2前			2						兼2	副題の追記 (28)	
		成長・発達と学習の過程	2前			2						兼2		
		教育の組織・制度・経営の基礎	2前			2						兼2	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目名称を変更 (28)	
		カリキュラムと教育方法	3前			2						兼2	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ (28)	
		理科教育法Ⅲ	3後			2						兼1	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、名称及び開設時期を変更 (28)	
		中等理科教育法Ⅱ	3前			2						兼1		
		学校教育相談Ⅰ (生徒指導を含む)	3前			2						兼2		
		学校教育相談Ⅱ (進路指導を含む)	3後			2						兼2		
		教育実習 (事前事後指導を含む)	4通			3						兼3		
教職実践演習 (中・高)	4後			2						兼6				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 44	科目 178	科目 12	科目 234	科目 44	科目 178	科目 12	科目 234	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	幾何学概論	2	4前	専門	選択	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ
2	カリキュラムと教育方法	2	3前	専門	選択	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ
3	職業指導	2	4前	専門	選択	学部共通科目ではなく、工業免許の教職課程を設置する学科の専門基礎科目としたため。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p><大学の所見> いずれの科目も教員免許取得のための教職科目として開講予定であったが、「幾何学概論」は、教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目を取り下げたものであり不都合はない。また、「職業指導」も、工業免許の教職課程を設置する学科の専門基礎科目としたため、不都合はない。さらに、「カリキュラムと教育方法」は、教育学部で開講する科目を受講させることとしたため、不都合はない。</p> <p><学生への周知方法> 「カリキュラムと教育方法」については、学生便覧及び授業時間割において教育学部開設科目であることを周知し、他学部科目として履修するよう指導する。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

※事前伺いにつき、記載致しません。

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
				室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²							
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 28 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
【学部】	年	人	年次 人	人		倍			
教育地域科学部									
学校教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成11年度	福井県福井市文京3 丁目9番1号	平成28年度から 学生募集停止
地域科学課程	4	-	-	-	学士 (地域科学)	-	平成20年度		〃
教育学部									
学校教育課程	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.06	平成28年度	福井県福井市文京3 丁目9番1号	平成28年度から 学部名称変更
医学部									
医学科	6	110	2年次 5	685	学士 (医学)	0.99	昭和55年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下 合月23号3番地	
看護学科	4	60	-	240	学士 (看護学)	0.98	平成9年度		
工学部									
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成11年度	福井県福井市文京3 丁目9番1号	平成28年度から 学生募集停止
電気・電子工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
情報・メディア工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
建築建設工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
材料開発工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
生物応用化学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
物理工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
知能システム工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
機械・システム工学科	4	155	3年次 10	640	学士 (工学)	1.03	平成28年度		
電気電子情報工学科	4	125	3年次 20	540	〃	1.05	〃		
建築・都市環境 工学科	4	60	3年次 10	260	〃	1.03	〃		
物質・生命化学科	4	135	-	540	〃	1.02	〃		
応用物理学科	4	50	-	200	〃	1.06	〃		

国際地域学部 国際地域学科	4	60	-	240	学士 (国際地域)	1.06	平成28年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	
【大学院】 教育学研究科 (修士課程) 学校教育専攻	2	30	-	60	修士 (教育学)	0.39	平成20年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年度から入学定員変更(12→30)
教科教育専攻 (教職大学院の課程) 教職開発専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	〃		平成28年度から学生募集停止
	2	37	-	74	教職修士 (専門職)	1.09	平成20年度		平成28年度から入学定員変更(30→37)
医学系研究科 (修士課程) 看護学専攻	2	12	-	24	修士 (看護学)	1.00	平成13年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地	
(博士課程) 統合先進医学専攻	4	25	-	100	博士 (医学)	1.00	平成25年度		平成25年度から学生募集停止
医科学専攻	4	-	-	-	〃	-	平成20年度		〃
先端応用医学専攻	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
生化系専攻	4	-	-	-	〃	-	昭和61年度		平成20年度から学生募集停止
工学研究科 (博士前期課程) 機械工学専攻	2	32	-	64	修士 (工学)	1.38	平成15年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成25年度から入学定員変更(25→32)
電気・電子工学専攻	2	30	-	60	〃	1.14	〃		平成25年度から入学定員変更(20→30)
情報・システム工学専攻	2	31	-	62	〃	1.12	〃		平成25年度から入学定員変更(23→31)
建築建設工学専攻	2	28	-	56	〃	0.81	〃		平成25年度から入学定員変更(22→28)
材料開発工学専攻	2	24	-	48	〃	1.20	〃		
生物応用化学専攻	2	21	-	42	〃	0.97	〃		
物理工学専攻	2	18	-	36	〃	1.08	〃		平成25年度から入学定員変更(14→18)
知能システム工学専攻	2	27	-	54	〃	1.03	〃		
繊維先端工学専攻	2	15	-	30	〃	1.43	平成25年度		
原子力・エネルギー安全工学専攻	2	27	-	54	〃	1.14	平成16年度		

(博士後期課程)									
総合創成工学専攻	3	22	—	66	博士 (工学)	1.20	平成25年度	福井県福井市文京 3丁目9番1号	
物質工学専攻	3	—	—	—	〃	—	平成5年度		平成25年度から学生募集停止
システム設計工学専攻	3	—	—	—	〃	—	〃		〃
ファイバ・アモニティ 工学専攻	3	—	—	—	〃	—	平成14年度		〃
原子力・エネルギー 安全工学専攻	3	—	—	—	〃	—	平成16年度		〃

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 応用物理学科>

(1) 担当教員表 ※事前伺いにつき、記載致しません。

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	6	0	2	12	8	9	1	0	18	4	6	0	2	12
(8)	(9)	(1)	(0)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 ※事前伺いにつき、記載致しません。

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退（26）				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（27）				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任（26）				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任（27）				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
〇〇 人	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目
	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目
	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目
	計 〇〇 科目	計 〇〇 科目	計 〇〇 科目	計 〇〇 科目	計 〇〇 科目	計 〇〇 科目	計 〇〇 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

※事前伺いにつき，記載致しません。

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 応用物理学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※事前伺いにつき，記載致しません。

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む） ※事前伺いにつき，記載致しません。

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況，方法等</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

※事前伺いにつき、記載致しません。

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28年 7月 1日)